

# News Fujimi



## 入笠地区の自然を守り育てるため

### ◆入笠山「すずらん植栽ボランティア」

花の宝庫「入笠山」の貴重な花々を後世に残し、入笠地区の自然を守り育てるため、第10回入笠植栽ボランティアが5月27日(日)に行われました。



町内外からの参加者と友好都市である多摩市民の皆さんが富士見パノラマリゾート Gondra 山頂駅周辺のすずらん公園にて1万本のすずらんの植栽に汗を流しました。



## 夏山シーズンの安全を祈って

### ◆入笠山 開山祭

6月2日(土)富士見町と伊那市の地元観光関係者や、一般登山者約200人が集まり、入笠山の開山祭が行われました。諏訪地方の愛好者でつくる「諏訪アルプホルンクラブ」の演奏が本格的なシーズン到来を告げました。



山頂(1955m)では、登山者の方が「素晴らしい眺望に感激しました。アクセスも良いので、また来たいです」と話してくれました。



## 全てに感謝し、少しでも他人のために

### ◆根津さん(諏訪マタニティークリニック院長)講演

6月2日(土)コミュニティ・プラザで諏訪マタニティークリニック院長の根津八紘さんの講演会が開催されました。根津さんは、短歌や俳句、自由詩などを紹介しながら「母親」のイメージと、自分が子供のころのエピソードを楽しく講演されました。

今回の企画展のメインテーマにもなった「全てに感謝し、少しでも他人のために」という言葉を紹介され、「この言葉を自分の座右の銘として今後も生きて行きたい」と締めくくりました。

## 全速力で「苦しさ」に立ち向かう

### ◆富士見高原八ヶ岳クロスカントリー大会

6月3日(日)富士見高原八ヶ岳陸上競技場を中心に、「八ヶ岳クロスカントリー大会」が行われました。この大会は、この地で過去30年間開催された「全国勤労青少年10マイルロードレース大会」を記念し、未永くその精神を継承している大会です。町内の幼児や家族をはじめ、県外から幅広い年齢層の方が参加し、初夏の富士見高原に吹く「さわやかな風」を感じていました。選手の「苦しさ」は、ゴールした後の「笑顔」に変わりました。



## 「すずらん風鈴」も登場し観光PRへ

### ◆「長野県東京観光情報センター」のディスプレイ

6月8日(金)東京都千代田区の「長野県東京観光情報センター」前ディスプレイに、富士見町の観光PRとして入笠山のポスターやパンフレットを配置しました。

また、今回は姉妹都市の静岡県西伊豆町名物「かも風鈴」とのコラボレーション商品として、「すずらん風鈴」も登場しました。今後も、季節の旬なイベント情報をPRし、観光客増を図ります。



## 負けたとき、学ぶものは「技術」ではない

### ◆富士見小学校 運動会

6月10日(日)富士見小学校で運動会が行われました。落合小学校閉校後、新しい仲間と一緒にやる初めての運動会です。当日のために、練習してきた仲間と心を震わせたこと、体調管理の支えとなった先生や家族に「感謝」の気持ちを持ちました。声で伝え、肌で感じて、言葉を交わした「運動会」。大切な「気持ち」を得たようです。



## 変わらぬ「故郷」を大切に想う

### ◆歓迎 東都高原富士見会 つつじ祭

6月10日(日)富士見高原リゾート スキー場レストランで、平成24年度「つつじ祭」が行われました。アトラクションとして、富士見ウインドオーケストラの皆さんによる演奏や、「信濃の国」の合唱など大変楽しく交流を深めました。故郷「富士見町」をいつまでも大切に想う気持ちが、つつじの花言葉「情熱」に通じます。

